

東京都立 多摩総合医療センター

副院長着任のご挨拶

多摩総合医療センター
副院長 手島 保



平成27年4月1日付けで市岡正彦副院長の後任として着任いたしました。地域医師会の先生方、関連医療機関の皆様にはこれから大変お世話になると思っておりますので、宜しくお願いいたします。

私は生まれも育ちも杉並区の荻窪で、大学時代だけ鹿児島に行きましたが、卒業後は東京に戻り、医科歯科大学第三内科に入局後、循環器科医師として都立広尾病院に28年間勤務しておりました。広尾病院は東京都の災害医療センターとしての役割り以外に、救急医療、島嶼医療、心臓病・脳卒中医療を柱としていましたが、都心の病院過密地帯に加えて、周囲の病院の新築・改築などに押され、いかにして病院としての特色を出して患者さんを獲得していくか、大変苦勞しておりました。広尾での最後の1年間は病診連携を担当させて頂き、医師会の先生方と接することが多く、病院勤務医とクリニックの先生方の意識の違いを実感するとともに、自分の勤務する病院が周囲からどのように期待されているか、様々な要望を聞くことができました。実際に顔をつきあわせて話し合った先生からの紹介は特に大事にするようになり、しだいに紹介も多くなってきて、顔の見える関係の大切さを再認識しました。この経験は今後に生かしていきたいと思っております。

多摩総合医療センターでは、北多摩地区の中心的な病院として救急医療と高度専門医療を担っていますが、周辺に大きな病院が少ないこともあり、救急診療についてはベッドが満床、手術中、あるいは他の患者さんの対応中などの理由でせつかくのご紹介にお答えできないこともあります。ベッド不足については簡単には解決することはできませんが、在院日数を減らすなどの内部努力をさらに続けていくことと、転送、転院をスムーズにすることで空床をひとつでも多く確保していく必要があります。その際は、地域の医療機関の皆様方のお力をお借りしなければなりません。今後も宜しくお願いいたします。

また専門外来へのご紹介についても予約センターでの電話対応に時間がかかり大変ご迷惑をおかけしていますが、これも電話対応マニュアルの見直しを行っており、早急に改善したいと思っております。本当に一步一步ですが、患者さんからも、地域の先生方からもより信頼される病院をめざして努力を続けたいと思っておりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、先生方のますますのご健勝をお祈り申し上げます。





医事課長着任のご挨拶

医事課長 齋木 牧子



本年4月1日付の人事異動により植田課長の後任として医事課長を拝命いたしました齋木と申します。平素より、近隣医師会の先生方をはじめ、医療関係機関のみならず、当院の医療連携にご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

前職は大田区にあります東京都保健医療公社荏原病院で医事課長として勤務しておりました。昨年度は診療報酬改定の年であり、2025年地域包括ケアシステム構築に向け医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実を医療の現場でも強く意識した年でした。多摩総合医療センターにおきましても、患者さんへの包括的な質の高いサービスを提供するために立ち上げました総合患者支援センター（医療連携、がん患者相談、退院支援、在宅医療支援、病床管理など）を拡充し、入院サポートセンターを設置するなどの新たな取り組みを行ったところです。当センターは、医師、看護師、MSW等多職種が連携し、転送・転退院を推進し、在宅療養の担い手につなげていく組織でもあります。これまで、返送・逆紹介といった形などにより、地域の医療機関相互の連携を深めさせていただいておりますが、今後、なお一層、総合患者支援センター等の運営を通じ、多摩地域の医療機関の皆様との連携を密にし、ご意見をいただきながら研鑽することで、多摩地域全体の医療レベルの向上に努めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、皆様の益々のご発展とご健勝を心からお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

都立多摩総合医療センター 人事異動

【転入】平成27年4月1日付

副院長	手島 保
歯科口腔外科医員	神山 勲
救急診療科医員	三好 雄二

【昇任】平成27年4月1日付

リウマチ膠原病科部長	杉井 章二
耳鼻咽喉科医長	測上 輝彦

【採用】平成27年4月1日付

循環器内科医長	加藤 賢
内科医員	下地 耕平
内科医員	中園 綾乃
内科医員	井上 大
内科医員	三浦 夏希
呼吸器内科医員	横江 絢子
循環器内科医員	明石 まどか
神経内科（神経病院兼務）	井上 智之
精神神経科医員	佐々木 雅明
精神神経科医員	寺澤 佑哉
外科医員	根本 卓
外科医員	山崎 僚人
外科医員	大久保 嘉之
脳神経外科医員	當銀 壮太
脳神経外科医員	有澤 慶
産婦人科医員	羅 ことい
耳鼻咽喉科医員	稲吉 康比呂
救命救急センター医員	金子 仁
血液内科医員	小畷 明

【採用】平成27年5月1日付

麻酔科医員	佐藤 玲華
-------	-------

【転出】平成27年4月1日付

副院長	市岡 正彦
精神神経科医長	正木 秀和
歯科口腔外科医員	市川 秀樹

【退職】平成27年3月15日付

産婦人科医員	大井手 志保
--------	--------

【退職】平成27年3月31日付

内科医長	唐鎌 優子
耳鼻咽喉科医長	渡辺 健太
内科医員	吉野 耕平
呼吸器内科医員	岡本 翔一
循環器内科医員	森 大
循環器内科医員	岩波 裕史
精神神経科医員	筒井 卓実
外科医員	吉井 淳
脳神経外科医員	広川 大輔
脳神経外科医員	申原 義啓
産婦人科医員	小関 真理子
産婦人科医員	一條 梨沙
耳鼻咽喉科医員	吉原 晋太郎
リウマチ膠原病科医員	布川 貴博
麻酔科医員	三井 裕介
麻酔科医員	真崎 藍
血液内科医員	田寺 範行





血管外科 医長 保坂 晃弘

当院血管外科では、腹部大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、急性動脈閉塞症などの動脈疾患、および下肢静脈瘤、深部静脈血栓症などの静脈疾患を扱っています。胸部大動脈瘤については、心臓外科と連携し、血管内治療（ステントグラフト治療）の対象となる患者さんは血管外科で担当しています。

大動脈瘤の治療について

従来から行われている開胸・開腹による人工血管置換手術に加え、腹部については2007年から、胸部については2008年から、ステントグラフト内挿術が保険治療として行われるようになりました。ステントグラフト治療とは、大腿動脈から折りたたんだ人工血管（ステントグラフト）を大動脈まで挿入し、瘤の中で広げる治療です（図1、2）。開胸・開腹操作が必要ないため、より低侵襲であり、症例によっては局所麻酔で施行することもあります。ステントグラフト治療は急速に普及し、日本では現在、腹部大動脈瘤については開腹手術とステントグラフト内挿術がおおよそ1：1の割合で施行されています。

人工血管置換術は、確実性の高い治療ですが、胸部や腹部を切開するため、体への負担がやや大きくなります。ステントグラフト内挿術は、低侵襲ですが、術後に再治療が必要になる可能性がより高いのが欠点です。当院では、患者さんの状態や瘤の形状に応じて、両者からより適した術式を選択して治療しています。

図1 腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術

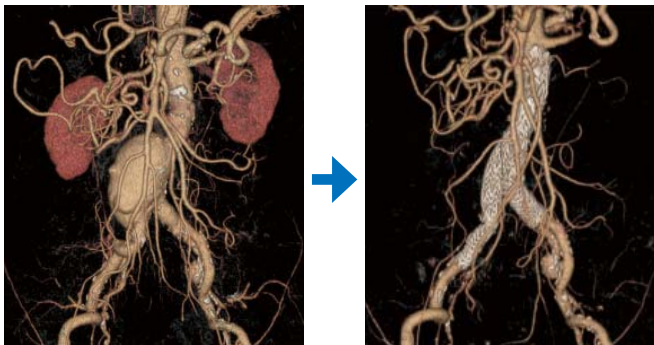
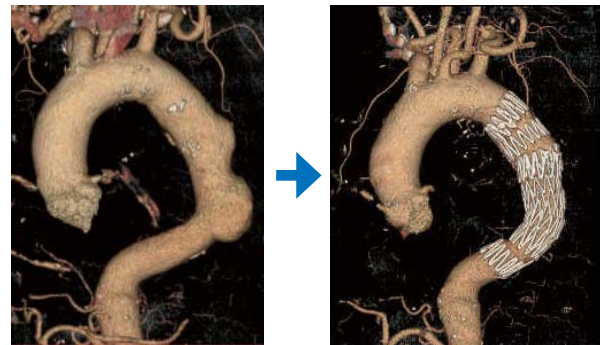


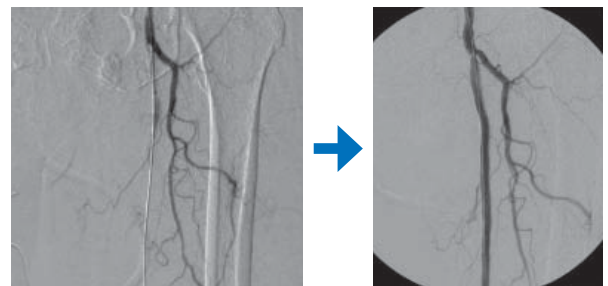
図2 胸部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術



閉塞性動脈硬化症の治療について

症状や病変の状態に応じて、運動療法、薬物療法、血管内治療、バイパス手術などから選択して治療しています。ここ数年で大動脈領域の血管内治療に使用できるステントの種類が増え（図3）、治療の選択肢が広がりました。一方、高齢化や、糖尿病や慢性腎不全など動脈硬化のリスク因子を多数合併している患者さんの増加などによって、広範囲の動脈閉塞をきたしている症例も多く見られるようになりました。このような複雑な症例に対しては、患者さんの状態に応じて複数の治療法を組み合わせることで治療しています。

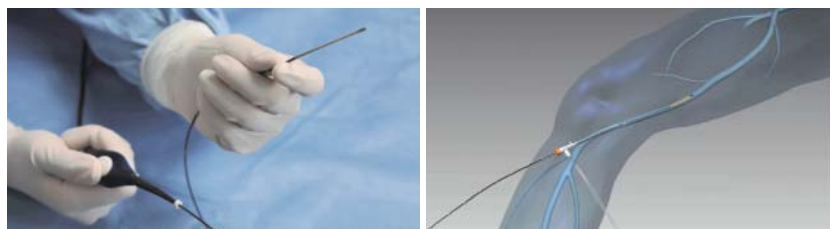
図3 大腿動脈閉塞に対する血管内治療



下肢静脈瘤の治療法について

症状が軽い場合は弾性ストッキングの着用をお勧めし、症状が強い場合は外科的治療を考慮します。外科的治療としては、従来はストリッピング手術（静脈を抜去する手術）が主に施行されてきましたが、血管内治療として2011年からレーザー治療が、2014年からラジオ波治療（図4）が保険適応となりました。当院ではラジオ波治療を施行しています。局所麻酔で施行可能で、ストリッピング手術に比べかなり低侵襲に治療できるようになりました。通常は、入院せずに日帰りで施行しています。

図4 下肢静脈瘤に対するラジオ波焼灼術



血管外科の初診外来は火曜日と金曜日に行っております。また、何かご不明な点などございましたら、お気軽にご連絡ください。



公開CPCのご案内

顔の見える医療連携の更なる推進を図るため、これまで院内で行なっていたCPC(臨床病理検討会)に地域医療機関の先生方にもご参加いただきたく、ご案内させていただきます。是非ご参加くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

毎月第3木曜日 午後6時～午後7時 4階401会議室
(8月は除く。都合により開催日を変更する場合があります)

※詳細は別途ご案内いたします。

各種講習会・勉強会のご案内(医療従事者向け)

医療連携臨床懇話会

平成27年6月18日(木)午後7時～午後9時 都立多摩総合医療センター講堂フォレスト

- 「COPD診療の実践」 呼吸器・腫瘍内科医長 高森 幹雄
- 「骨粗鬆症診療のupdate」 都立松沢病院整形外科医長
(当院整形外科医長兼務)牛田 正宏

各種講習会・勉強会のご案内(患者さん向け)

※参加無料、事前予約不要です

糖尿病講習会 (会場：都立多摩総合医療センター講堂フォレスト)

- 「糖尿病網膜症」「点眼薬を正しく使いましょう」「外食・宅配等の利用方法」
日時：平成27年6月17日(水) 午後2時～午後4時
- 「糖尿病腎症」「透析療法の実際」「腎症予防に向けての食事」
日時：平成27年7月15日(水) 午後2時～午後4時
- 「糖尿病のセルフコントロール」「糖尿病内服薬の飲み方」「糖尿病手帳の使い方」
日時：平成27年8月19日(水) 午後2時～午後4時
- 「糖尿病の内服薬」「糖尿病の運動療法」「嗜好品等について」
日時：平成27年9月16日(水) 午後2時～午後4時

当院は原則として、**紹介予約制**です。
外来及びCT、MRI検査は必ず予約を取り、
紹介状をお願い致します。

<電話予約センター>

月～土 受付時間 午前9:00～午後5:00

TEL : 042-323-9200

ご意見、ご投稿、お問い合わせは
医療連携係(秋山・飯岡 内線2171)まで

<FAXによる診療予約>

月～土 受付時間 午前9:00～午後5:00

FAX : 042-323-9205

緊急の場合…必ず事前にご連絡ください

代表電話：042-323-5111から、①平日の午前9時～午後5時は「〇〇科責任医師」、②午後5時以降、土曜日、日曜日及び祝祭日は「〇〇科の救急担当医」とお申し付けください。

※一部の診療科では、夜間・休日は専門医がおりませんので診療できない場合があります。

※受診が決まった場合は、患者さんに紹介状(診療情報提供書)をお渡しください。

東京都立多摩総合医療センター 〒183-8524 東京都府中市武蔵台2-8-29
TEL 042-323-5111(代表)

